

2023 年度（第 46 期）第 2 回理事会 議事録

日 時：2024 年 2 月 22 日(木)14:00～15:30

形 式：Web 会議形式

出席者：藤野裕士（理事長）、内田寛治、大塚将秀、志馬伸朗、竹内宗之、竹田晋浩、

中根正樹、吉田健史、石井宣大、玉木 彰、茂呂悦子（各理事）、西田 修（監事）

陪席者：梶本聡彦、一晃 巽（プロアクティブ社；会員管理システム委託先候補）

欠席者：近藤康博、平井豊博、佐藤暢一（理事）、川前金幸（監事）

（敬称略）

- ・理事会開催に必要な理事の過半数の出席が報告され開会が宣言された。

I. 報告事項

1. 前回理事会議事録の確認・承認（藤野理事長）

- ・前回議事録は、原案どおり承認された。

2. 持ち回り理事会（審議 2 件、連絡 2 件）の確認・承認（藤野理事長）

- ・審議 2 件の決定事項を承認し、2 件の連絡事項を確認した。

1) 会員情報保護申し合わせの作成・設置

- ・本会において、会員情報に関する会員の権利が保障され、本会 Web サイトやシステム、業務委託先などで個人情報が適切に管理・運用されることを目的として、会員情報保護についての申し合わせを学会ホームページにて公開した。

2) 呼吸療法専門医 2023 年度筆記試験結果

- ・専門医委員会で実施された合否判定により基準を満たした 31 名の合格が承認された。

3. 理事長報告（藤野理事長）

1) 日本集中治療医学会創立五〇周年記念式典・祝賀会への招待

- ・学内業務のため欠席。

2) 呼吸ケア指導士の研修単位の件

- ・日本呼吸ケア・リハビリテーション学会による“呼吸ケア指導士”の研修単位として、本会年次学術集会への出席 10 点・筆頭演題発表 10 点が継続的に認定された。

3) 会員管理システム導入について

- ・日本集中治療医学会で稼働が始まった会員管理システムの部分的導入に向けて、プロアクティブ社より本会に適合する仕様の概要について説明が行われた。
- ・すでに構築済みの仕様をベースに本会用にカスタマイズすることで、実装期間の短縮、初期費用の圧縮、現行仕様の改善などが期待でき、多数の会員に馴染みがあるというメリットがある。仕様を議論する際も関係者同士で出来上がりイメージの共有が容易となり、正確に要件定義を進めることにもつながる。
- ・現在の契約サーバー・ドメインの継続は可能であるが、導入する会員管理システム部

分については別途サーバー契約が必要となる。また、導入後の保守運用も適用されるためランニングコストを計上する必要もある。

- ・代議員、呼吸療法専門医資格（更新点数）、査読実績、投稿履歴などの管理をどのように行うか、学術集会やセミナーへの参加実績の取り込み方法はインポート形式で可能なのか、年会費の支払いや確認方法など、重要な項目について詳細に議論しておく必要がある。
- ・理事長・副理事長・編集委員長・専門医委員長・関係理事らによるワーキンググループを設置し、要件定義を進めることとした。2024年6月の定時社員総会までを目途に、委託企業の選出などの方向性を決定することを目標とする。

4. 事務局からの報告（佐藤理事 代 藤野理事長）

- ・2024年2月1日時点の会員数が以下のとおり報告された。
一般会員：1,897名（Dr 1,168、Ns 266、CE 324、PT 113、他 26）
賛助会員：15社／年間購読契約：8件
- ・2024年3月で2年度分滞納により資格喪失退会となる見込みは112名。事務局から11月に次いで2度目のリマインドを行った。
- ・会員動向は、医師会員は増加傾向にあり、看護師・臨床工学技士・理学療法士はいずれも横ばいで推移している。
- ・一般会員の会費納入状況は、2022年度が91.4%、2023年度が78.9%である。
- ・事務局の固定電話に携帯電話などへの転送サービスを付加することが承認された。

5. 学術集会報告、準備状況

1) 第45回学術集会（近藤前会長）

2023年8月5日(土)・6日(日)ウインクあいち（名古屋、OD 8/15～9/20）

「つなぐ ～ニューノーマルへ Connecting the Dots」

- ・収支決算は、収入79,961,141円、支出74,702,566円となり、5,258,575円の黒字であった。余剰金の分配については第3号議案にて審議を行う。

2) 第46回学術集会（中根会長）

2024年6月28日(金)・29日(土)天童ホテルほか（山形、OD 予定）「標す」

- ・演題数は2月21日(水)17:00時点で117演題（うち一般演題103演題〈一般72、公募企画31〉、テーマ指定演題14演題）。期限を延長して募集している。
- ・予算案は1,300～1,500名の参加登録を想定した予算組を行っている。協賛状況（共催セミナー・展示）は、10社が確定した（前回15社）。現時点では5～6千万円の予算規模を想定している。
- ・参加費は前回から2,000円を上乗せした額で、第4号議案にて審議を行う。
- ・非会員の演者については、まずは入会をお願いし、かなわない場合は旅費および謝礼の支給が難しいことをお伝えする、ただし学術集会参加費（+懇親会）は無料、前日の会長招宴へのご招待、記念品（QUOカード）を贈呈するといった方針であること

が報告された。

3) 第 47 回学術集会 (吉田副会長)

2025 年 8 月 30 日(土)・31 日(日)グランキューブ大阪 (大阪)

- ・運営事務局をクレッシェ社に決定したことが報告された。
- ・近日中にテーマを決定し、第 46 回学術集会開催時にはポスターの掲示とリーフレットを配布し、ホームページを公開する。

4) 第 48 回学術集会 (平井理事 代 藤野理事長)

2026 年 7 月 4 日(土)・5 日(日)国立京都国際会館 (京都)

- ・第 48 回学術集会の会期・会場が 2026 年 7 月 4 日(土)・5 日(日)、国立京都国際会館に内定した。援助費の支払い時期について第 7 号議案にて審議を行う。

6. 事業報告

1) セミナー事業 (大塚理事)

- ・第 52 回日本呼吸療法医学会セミナーの最終参加登録は 920 名。
受講期間は 7/1～31。受講料は 7,700 円 (税込)。
- ・医師向けセミナー第 2 回 **Refresher** コースの最終参加登録は 88 名。
受講期間は 11/1～30。受講料は 12,100 円 (税込)。
- ・医師向けセミナー第 13 回 **Basic** コースの最終参加登録は 344 名。
受講期間は 3/1～31。受講料は 12,100 円 (税込)。

2) 呼吸療法専門医 2023 年度〈更新・新規〉申請 (佐藤理事 代 藤野理事長)

- ・2023/12/2(土)11:30～13:10 に新大阪で筆記試験を実施。受験者 32 名。客観問題 46 問 200 点満点。採点は吉田副委員長が阪大の採点システムを利用して行った。合格基準 120 点を満たした 31 名を合格とし理事会承認を得て可否を通知した。年度内に登録料納入の確認後、認定証を発行する。
- ・次年度からは事務局で必要機器を購入し、採点まで執り行うこととする。

7. その他、今後の理事会予定 (藤野理事長)

1) 2023 年度理事会日程

- ・第 3 回理事会 (Web 形式) 5 月 30 日(木)14:00 開催に変更された。
- ・第 4 回理事会 (集合形式、山形) 6 月 27 日(木)14:00～15:00

II. 委員会報告

1. 将来計画・財務委員会 (委員長 藤野裕士)

- ・前回の理事会で、広報委員会の設置に向けて多職種の候補者を推薦することになり現在以下の推薦があがっている (敬称略)。

野口あすか **Ns** 福岡県済生会福岡総合病院救命センター [茂呂理事推薦]
(呼吸器疾患看護認定看護師／特定行為看護師)

3. 代議員審査委員会 (委員長 青景聡之／担当理事 平井豊博)

- ・2年に一度の代議員審査を以下の日程で実施する。

〈更新申請期間〉 3月1日～31日 〈新規申請期間〉 3月1日～4月30日

〈代議員審査委員会〉 5月8日～15日

〈理事会報告〉 5月23日

- 小児在宅人工呼吸検討委員会（委員長 寺澤大祐／担当理事 竹内宗之）
 - ・第46回学術集会で委員会企画を計画している。
- セミナー委員会（委員長 方山真朱／担当理事 大塚将秀・玉木 彰）
 - ・日本集中治療医学会から「サマーキャンプ in TATESHINA ハンズオンセミナー（2024年7月18日(木)～19日(金)）」への協力依頼を受け、前回（in NISEKO）の内容を参考に本委員会でプログラム・受講者数・機器手配などの企画を進めていく。
 - ・サマーキャンプのセミナー講師や受講についても呼吸療法専門医の更新点数に含めるかを専門医委員会で審議する。
- チーム医療推進委員会（委員長 佐藤暢夫／担当理事 大塚将秀・茂呂悦子）
 - ・会員専用ページで会員同士が意見交換できる掲示板「Joyful Board」を2023年12月に設置した。2024年2月時点で、前年8月の試用期間も含め14件の投稿があり76件の回答があった。アクセスカウンターは「358」を数えている。
 - ・第46回学術集会で3つの委員会企画を計画している。演者への質問や意見交換の場としてJoyful Boardの活用を学術集会会長に提案中。
- 専門医委員会（委員長 江木盛時／担当理事 佐藤暢一・藤野裕士）

1) 2023年度〈更新・新規〉審査結果

	研 修 施 設 (127)		専 門 医 (302)	
	〈更新〉	〈新規〉	〈更新〉	〈新規〉
申請期間	4/1～ 5/31		8/1 ～9/30	
対象/申請	36 施設	4 施設	60 名	32 名
認 定 数	34 施設	4 施設	57 名	32 名
			筆記試験合格	31 名
退 会 等			退会 2 名	暫定 2 名
認定総数	129 施設		330 名	
有効期間	2024/4/1～ 2029/3/31			

- ・2023年度の認定結果が上記のとおり報告された。

9. ECMO プロジェクト委員会

1) 『ECMO・PCPS バイブル』の改訂について

- ・改訂版の発行についてメディカ出版に照会し、在庫状況に留意し刊行時期を適切に設定できれば問題ないことを確認した。前版と同じく日本心肺補助学会（旧PCPS/ECMO研究会）と共同で取り組む。

11. 社会保険委員会（委員長 志馬伸朗／担当理事 平井豊博）

- ・ 本会から提出した令和 6 年度診療報酬改定提案について、「未収載 酸素ボンベ安全性加算」「既収載 基礎代謝測定（間接熱量測定）」いずれも医療技術評価分科会にて評価すべき医学的な有用性・根拠が十分でないとの判定が下ったことが報告された。
- 12. 倫理委員会（委員長 大塚将秀／担当理事 志馬伸朗）
 - ・ 第 46 回学術集会（2024 年、山形）で教育講演とワークショップ企画を予定。
- 14. 学術研究推進委員会（委員長 吉田健史／担当理事 志馬伸朗）
 - ・ 大阪南医療センター呼吸器・アレルギー内科「気管支喘息、COPD 増悪時の吸入療法の実態調査」を、以下 3 学会の会員を対象にオンラインで実施した（2023 年 10 月～11 月 20 日）。本アンケートは全国的にデータを収集し吸入療法の実態を知ることが目的として、本会主管、大阪南医療センター呼吸器・アレルギー内科（奥田みゆき）研究代表、日本集中治療医学会・日本呼吸器学会との 3 学会合同形式で実施。
 - ・ アンケート結果は日本国内での吸入療法の実態を知る貴重な情報として、英文での報告を作成中。投稿先のジャーナルから本会機関紙への投稿許可が得られれば機関誌での論文発表を行う。
- 16. 気管吸引ガイドライン改訂ワーキンググループ（委員長 中根正樹）
 - ・ 本ガイドライン改訂版を 2023 年 12 月に学会ホームページにて学会誌第 41 巻第 1 号（2024 年 5 月発行）の先行公開記事として掲載した。
- 17. ARDS 診療ガイドライン 2026 作成委員会（担当理事 竹内宗之）
 - ・ 2023 年 6 月から 2024 年 2 月にわたり Web 会議を 5 回開催している。
 - ・ パネル会議メンバー 49 名から選考し、パネル会議を 2024 年 5 月に予定している。

Ⅲ. 審議事項

第 1 号議案 定款／理事会・委員会規則 変更の件（佐藤理事 代 大塚理事）

1) 定 款

第 16 条 代議員の任期は、選任後~~2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する~~された社員総会の翌日から選任後 2 年目の事業年度の定時社員総会の終結のときまでとし、再任を妨げない。

第 22 条 理事の任期は、選任後~~2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する~~された社員総会の翌日から選任後 2 年目の事業年度の定時社員総会の終結のときまでとし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後~~2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する~~された社員総会の翌日から選任後 2 年目の事業年度の定時社員総会の終結のときまでとし、再任を妨げない。

2) 理事会・委員会規則

第 11 条 委員、委員長の任期は次の各項に定める。

(1) 委員の任期は、委嘱を受けたときからその 1 年後に新たに委員が選出される日

~~まで~~事業年度の社員総会の翌日から翌事業年度の社員総会の終結のときまでとし、再任を妨げない。ただし、委員長である期間も含めて連続6期（約6年）を超えないものとする。

3) セミナー委員会 規則

第2条 組織 委員会は委員長1名、委員~~8名~~10名で構成する。

- ・定款、理事会・委員会規則、セミナー委員会規則について、上記のとおり変更が承認された。定款については2024年定時社員総会にて審議を行う。

第2号議案 次期委員会人事の件（佐藤理事）

1) セミナー委員会

- ・鎌田あゆみ委員（Ns）の後任に山口貴子会員（Ns）を推薦
- ・追加招集として宮崎裕也会員（Dr）を推薦

2) チーム医療推進委員会

- ・神谷敏之委員（CE）、笹沼直樹委員（PT）、宮崎博之委員（Ns）の後任に玉城 智会員（CE）、野々山忠芳会員（PT）、有澤文孝会員（Ns）を推薦
- ・追加招集として山下崇史会員（Dr）を推薦

3) 安全対策・危機管理委員会

- ・長谷川隆一委員、藤本正弘委員の後任に鶴田良介代議員（Dr）、佐藤健太郎会員（CE）を推薦
- ・上記のとおり、各委員会委員の新規・後任候補が承認された。

第3号議案 第45回学術集会 余剰金の件（佐藤理事 代 藤野理事長）

- ・学術集会の余剰金については「収支差額から法人税・消費税を差し引いた額のうち、75%を会長に、25%を学会本体に繰り入れる。会長への繰り入れ上限額は500万円」と規定されている（理事会・委員会規則第23条）。
- ・会計士の指導のもと計算を行った結果、収支・税額・精算金が算出され、その結果3,424,083円＋精算金931円を会長に、1,141,361円を学会に繰り入れることについて審議を行う。
- ・なお、収益事業にかかる直接経費の見直しにより法人税等の負担額をマイナス調整できた場合、軽微な額の変更が生じるが、それによる余剰金の再計算は行わない。

第4号議案 第46回学術集会 参加費の件（藤野理事長・中根会長）

	第45回	第46回	
医師（会員）	13,000円	15,000円	（不課税）
医師（非会員）・一般	14,300円	16,500円	（課税）
メディカルスタッフ（会員）	10,000円	12,000円	（不課税）

メディカルスタッフ（非会員）	11,000 円	13,200 円	（課税）
研修医	10,000 円	11,000 円	（課税）
学生（学部学生のみ）	3,000 円	3,300 円	（課税）

・上記のとおり承認された。

第 5 号議案 名誉会員推戴の件（佐藤理事 代 藤野理事長）

1）2024/6/27 で任期満了を迎える代議員（6 名）

川前 金幸 Dr、布宮 伸 Dr、富井 啓介 Dr、
今中 秀光 Dr、中澤 弘一 Dr、升田 好樹 Dr

2）名誉会員推戴候補者※ ※定款施行細則第 30 条(3)理事長、学術集会会長、理事、監事経験者

川前 金幸 Dr 理事長、31 回会長、監事
布宮 伸 Dr 理事、39 回会長
今中 秀光 Dr 理事

・上記 3 名の推戴が承認された。ご意向を確認し、2024 年定時社員総会で推戴式を実施する。

第 6 号議案 第 48 回学術集会 援助費の件（藤野理事長）

・第 48 回学術集会の会期・会場が 2026 年 7 月 4 日(土)・5 日(日)、国立京都国際会館に内定したが、前納金の支払いスケジュールについて予告があった。

2024/3/29 約 74 万円、2025/12/20 約 74 万円、2026/4/3 約 580 万円

・初回の前納期日については本体会計からの援助費入金よりも早い時期となっており、現時点では運営事務局にて立て替える方針との報告があった。
・平井理事に口座開設を進めていただき、初回前納期日に間に合えば援助費を前倒しして支給することが承認された。